

第40回 河川一斉清掃

未来の子どもに綺麗な川を

6月3日 吉井川・宮川・藪田川流域

6月の環境月間に合わせて実施する河川一斉清掃に40町内会の住民や学生、企業ボランティアなど約2,500人が参加しました。吉井川本流と支流の宮川、藪田川の延べ8.5キロの流域で約2時間、ゴミ拾いや草刈りなどを行いました。作業を終えると河岸は見違えるように綺麗になり、回収されたゴミは29.4トンにものぼりました。

川はわたしたちが暮らしてゆくために必要不可欠で貴重な水を運んでくれます。来年も多くの皆さんの参加をお願いします。



第41回 阿波ふるさと祭り

見て、見て。お魚捕れたよ

5月27日 阿波ふるさとふれあい会館(阿波)ほか

地元で採れた山菜や野菜、ヒラメの塩焼きなどの販売のほか、野外ステージでは、太鼓の演技やバルーンアート、餅投げなどが行われ、多くの来場者でにぎわいました。また、阿波森林公園ではニジマスのつかみ取りも行われ、子どもたちのはしゃぎ声が響いていました。

勝央町から家族4人で来た濱田優斗くんは「毎年、ニジマスのつかみ取りに来るのを楽しみにしています。ほかの子たちとも仲良くなれるのもうれしい」と話してくれました。

親子エコフェスタ 2012

みんなでつくろうエコ友の輪

6月10日 アルネ・津山 ほか

6月の環境月間に合わせて、地球温暖化防止や環境保全の大切さなどへの理解を深めるため開催した「親子エコフェスタ」。工作コーナーやミュージカル、エコクイズなどに約1,300人の親子連れなどが参加しました。

弟と作州緋の体験コーナーで綿繰りに挑戦した渡辺朝日さん(向陽小3年生)は「綿花から種子を外す道具(綿繰り機)を見るのも触るのも初めてで、とても面白いです。でも、大変な作業です」と綿繰り機を回しながら話してくれました。



ミュージカル「みまさか猿神退治」オーディション  
元気いっぱいに演じます

6月10日 津山文化センター(山下)

美作国建国1300年記念ミュージカル「みまさか猿神退治」のオーディションに42人が臨みました。課題曲の「かたつむり」に振りをつけて歌い、子ども用と大人用に分けられたせりふを大きな声で読み上げました。

ミュージカルは、来年3月にプレ公演され平成25年度には美作国の各地域で公演されます。

親子で参加した藤長裕子さん(上高倉)は「娘と一緒に楽しく演じて、それが見てくれる人に伝わればうれしいですね」と話してくれました。

美作国ご当地アイドル SakuLove 新メンバーお披露目会

メンバー新たに美作地域をPR

6月2日 イオンモール津山(河辺)



(左から)湯浅美南さん、山本美桜菜さん、高橋麗奈さん、真木杏奈さん、中尾若奈さん



昨年6月に結成された津山のご当地アイドル「SakuLove」が美作国のご当地アイドルとして再スタート。一部メンバーを入れ替えて新メンバーのお披露目会を行いました。また、美作国建国1300年記念事業の「PR天使」にも就任し、美作国をPRしていきます。

新メンバーの山本美桜菜さんは「歌や踊りで美作地域の良いところと美作国建国1300年をアピールしたいです」、真木杏奈さんは「たくさんの方に美作国を知ってもらい、美作地域に来てほしいです」と笑顔いっぱい今後の活動の抱負を話してくれました。



第11回 広戸仙ふれあい登山大会

草木と眺望を楽しむ登山

5月27日 広戸仙登山道(半日コース)

広戸西まちづくり協議会が主催する登山大会。家族連れや登山愛好家など約200人が参加しました。コースは中世山城の爪ヶ城跡や矢櫃城跡などを巡る9.4キロ。参加者は、道沿いに咲いたベニドウダンツツジやアマドコロなどの草木に目をやったり、小鳥のさえずりに耳を傾けたりしながら、新緑の登山道を登りました。

里庄町から参加した大山晃さんは「初回から毎回参加しています。見晴らしも良くて、気持ちいいですね」と清々しい表情で話してくれました。



歴史講演会「江戸一目図屏風の世界」

一目図から見る江戸の全貌

5月26日 市立図書館(アルネ・津山4階)

津山郷土博物館に所蔵されている江戸一目図屏風の複製が、東京スカイツリーの展望フロアに展示されたことを記念した講演会。定員の80人を上回る人が詰め掛けました。同博物館の尾島治館長が作者の鍛形蕙斎の生い立ちや屏風に描かれた浅草寺や両国橋など数々の名所の拡大写真をスクリーンに映し出して説明しました。

また、簡単な線だけで人物などを描く蕙斎の「略画式」という技法にも触れ、参加者は興味深げに耳を傾けていました。